



東京江戸ウィーク
Tokyo Edo Week
2016

2016年6月15日
PRESS RELEASE

江戸時代にタイムスリップし和装で日本文化を楽しむ「東京江戸ウィーク」 2016年7月1日(金)広尾にてプレス発表会のご案内

2016年9月22日(祝)-25日(日) 上野公園にて世界最大の縁日「東京江戸ウィーク 2016」開催

東京江戸ウィーク実行委員会(東京都港区 実行委員長:橋本芽空/はしもとがく)は、オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年に向けて、真の日本文化を世界に発信するプロジェクト「東京江戸ウィーク」の第一弾の取り組みとして、2016年9月22日(木・祝)～25日(日)に東京・上野公園を和装の人で埋め尽くす、日本文化体験型のイベントを開催いたします。2016年7月1日(金)には東京・広尾の「コートヤードHIROO」にて詳細概要を発表いたしますのでご案内させていただきます。



『赤と黒』

メイン会場は暖簾、提灯、番傘といった日本の伝統的なアイテムを使って江戸の街並みの様な雰囲気を作りたいと考えた。エントランスゲートの大暖簾をくぐって中に入ると、中央ステージに向かう70メートルの花道を中心に周囲を飲食、展示、体験ブースが取り囲む。全ブースの軒先には暖簾を取り付け各テントの柱ごとにはスタンド型提灯を配置していった。広場スペースには、特注高さの番傘をオブジェのように点在させ、また、畳敷きの多目的エリアを設けるなど随所に日本の要素を織り交ぜている。全体のカラースキームを日本の漆の色である赤と黒で構成していき、最後に主役である浴衣姿の人々が彩りを加えることで完成する、従来のイベントスペースにはない賑やかで艶やかな空間を目指した。

橋本夕紀夫デザインスタジオ
橋本 夕紀夫

INVITATION

「東京江戸ウィーク」プレス発表会

東京江戸ウィークのコンセプトが伝わる演出の中、プレスおよび関係者様を対象としたプロジェクトの概要発表を行います。「和装」「工芸」「食」のテーマからセレクトした展示販売やワークショップ、トークショー、新しい日本の夏の装い「あきゆかた」の提案なども行います。

■プレス発表会 概要

日時: 2016年7月1日(金) 17:30-19:00

※イベントは7月1日(金)17:00-21:00、2日(土)11:00-17:00の2日間開催

場所: コートヤードHIROO(〒106-0031 東京都港区西麻布4-21-2) 1F・3F・中庭

電話: 03-6427-1185

ゲスト: 波戸場承龍氏、田中翼氏 ほか

出展: 笠仙、江戸切子協同組合、にじゆら ほか

上野精養軒などのフードや日本酒を予定

ドレスコード: ゆかたでご来場の方には会場サービスを予定

■プレス発表会 タイムスケジュール

17:00 開場、受付開始

17:30 東京江戸ウィーク概要説明/委員長 橋本芽空

18:00 トークショー/京源 波戸場承龍氏×委員長 橋本芽空

18:30 フォトセッション

随時 実演・ワークショップ・展示・販売(21:00までお楽しみいただけます)

注染手拭い、紋切形、江戸切子、アンティーク着物、あきゆかた ほか

※予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

■ご出席、ご取材のご連絡

6月30日(木)までに鈴江【info@edoweek.jp】宛に[会社名][氏名][電話番号][人数][取材の有無]をお知らせください。

ご来場の際は受付にお名刺を2枚ご持参ください。



電車: 広尾駅

都バス: A 東京女学館前

B 日赤医療センター下

C 南青山7丁目

※駐車場は近隣のパーキングをご利用ください。



東京江戸ウィーク
Tokyo Edo Week
2016

2016年6月15日
PRESS RELEASE

「東京江戸ウィーク」プロジェクト概要

【ビジョン】

「あたらしい日本の文化、和装週間ははじめます。」

【フェーズ】

2016年～2018年 誰もが和装で楽しみながら日本文化を体感できる期間として東京都内の拠点を随時拡大
2019年～2020年 東京都内全域から全国主要都市へ拡大
2020年～ 江戸ウィークを世界主要都市で随時開催

【目的】

ものづくり大国である日本の文化は地域に根付いた様々な特徴がありますが、記念すべき第一回目は世界でも稀にみる発展を遂げた世界都市「東京」で開催いたします。現代の私たちの暮らしのルーツともいえる江戸時代の町人文化を中心に、和装でホンモノに触れ合い、学び、体験して楽しむことで日本人としての誇り、新たな明日への創造力につなげていけるイベントを目指します。



【東京江戸ウィークオリジナル家紋】

京源 波戸場承龍氏による東京江戸ウィークオリジナル家紋は、五大家紋である、鷹の羽の輪に片喰、木瓜、藤を組合せ桐に見立て、花びらが七枚、五枚、葉が三枚で『七五三』になるデザインです。様々な人々が江戸に集まる様を表現しています。



第一回 イベント概要

日程：2016年9月22日(木・祝)～9月25日(日)

会場：上野恩賜公園(メイン会場：噴水前広場)

来場者数予測：40万人～

ターゲット：日本人、在日外国人、外国人観光客、老若男女

出展数：約80ブース

【コンテンツ】

メイン会場：邦楽BAND、古武道・侍パフォーマンス、木やり、パフォーマー(町人・忍者・侍など)、江戸大衆芸能(トークショー・ワークショップなど)、ファッションショー(あきゆかた・和装・コスプレなど)、台東区 日本子守歌協会、和装ウエディング、抽選会、練り歩き・仮装行列、ほか

その他公園内：歌舞伎展覧会、田中翼氏 アンティーク着物展覧会、五重塔 ライトアップ、和装レンタルスペース設置、文化会館内 ワークショップ、ドコモgacco 江戸講座、西郷マユミ氏 監修 オーガニックマルシェ、江戸ファーストフード ほか

※詳細は2016年7月1日のプレス発表会にて公開させていただきます。

主催：東京江戸ウィーク実行委員会

共催：読売新聞社

後援：外務省／経済産業省／東京都／台東区／上野観光連盟／株式会社織研新聞社

協賛・協力：株式会社ドコモgacco／一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会／NPO法人日本子守唄協会



<アートディレクション> 橋本夕紀夫(はしもとゆきお)氏

1962年愛知県生まれ。1986年愛知県立芸術大学デザイン学科卒業。(株)スーパーポテトを経て1996年橋本夕紀夫デザインスタジオ設立。現在東京工芸大学教授、愛知県立芸術大学非常勤講師、東京芸術大学非常勤講師。受賞歴はナショナルライティングデザインコンテスト優秀賞、JCD優秀賞、空間デザインコンペティション銀賞、タカシマヤ美術賞など多数。代表作として「ザ・ベニンシュラ東京(日比谷)」、「ビルボードライブ東京(六本木)」、「水響亭(銀座)」、「過門香(銀座一丁目)」、「音音(新宿)」、「BEAMS HOUSE(丸の内)」、「蘭亭(台湾・台北)などを手がける。



<家紋ロゴデザイン> 波戸場承龍(はとばしょうりゅう)氏 ※7/1(金)プレス発表会参加

家紋を専門に墨と筆で描く職人として技術を継承し、その技術を駆使した家紋作品を数多く制作。2010年に工房「誂処 京源」を構え「デザインとしての家紋」をコンセプトにIllustratorで家紋を描く事業を開始。COREDO室町1,2,3の入り口に掛けられた暖簾の紋意匠やART AQUARIUMの金魚の家紋など、商業施設や企業の紋意匠、個人の為の家紋を新たにデザインする他、様々なジャンルの企業と組み家紋とプロダクトの新しい形を提案している。又、着物のデザイナーとしての一面を持ち、2014年からUNITEDARROWSより和装のフォーマルウェア「京源の男着物」をプロデュース。



<アンティーク着物監修> 田中翼(たなかよく)氏 ※7/1(金)プレス発表会参加

1944年東京に生まれる。1984年よりアンティーク着物のコレクションを本格的に開始。日本のデザイン史上最も斬新で自由なものが多く生まれた大正～昭和初期にかけての貴重な着物コレクションは別冊太陽「昔きものど遊ぶ」「昔きもの着こなし」で発表され、大きな反響を呼ぶ。2004年～2005年にかけて、3回にわたる大規模なコレクション展を松坂屋銀座店で開催。その後、ボストン美術館やNYバード大学院付属美術館など海外の美術館にも貸し出されるなど、そのコレクションは世界的にも高く評価されている。



<江戸フード監修> 西郷マユミ(にしむらまゆみ)氏

マクロビオティック・ヘルス・コーチ/パーソナル・シェフ/ORGANIC CARTEL 最高顧問/日本パーソナルシェフ協会顧問
一般社団法人オーガニックヴィレッジジャパン(OVJ)アドバイザー 1982年に単身渡米、マクロビオティックの世界的権威である久司道夫氏に師事。その後、アメリカマサチューセッツ州クインシースティテュートベケット校の設立に参加し、同校の料理主任および料理講師に就任。同時に、がん患者や子どものために食事を作る経験を通して、また働く女性でも無理なく続けられるよう、時代のニーズに合ったマクロビオティックのあり方を提唱・実践。

【取材に関するお問い合わせ先】

広報：鈴江恵子(東京江戸ウィーク)
TEL:080-6390-8284 MAIL:k-suzue@edoweek.jp
広報：紙谷知子(株式会社USPジャパン)
TEL:03-3235-0029 MAIL:kamiya@usp.co.jp

【イベント・運営に関するお問い合わせ先】

東京江戸ウィーク実行委員会 担当：横山雄太
TEL:03-6894-7520 FAX:03-6455-4702 MAIL:info@edoweek.jp
HP: http://www.edoweek.com
〒107-0052東京都港区赤坂7丁目2番17号410号室